

平成 28 年度 均等・両立推進企業表彰 均等推進企業部門 厚生労働大臣優良賞

塩野義製薬株式会社

所在地：大阪府大阪市 業種：製造業 従業員数：約 4,000 人

従業員による自律的な活動を通じて、本部（職種）ごとに特有の課題を抽出し取り組んだ結果、女性の定着が進み、女性管理職が増加

1 ポジティブ・アクション取組体制

- ◇ 研究開発部門、営業部門等の各部門の本部に設置されているワーキングチームが中心となり女性活躍推進の取組を実施。部門横断的な情報共有のために、人事部が各ワーキングチームの仲介役を担当
- ◇ 全社組織として、社長を座長として各本部長から構成される人事委員会を設置。現在、女性活躍推進を重要テーマとして掲げ、管理職登用等を中心に検討

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇ 「平成 32 年度までに、幹部職（マネジャー）に占める女性比率を 10%以上にすること」を目標として取組を実施中

【職域拡大】

（営業部門の取組）

- ◇ 全国転勤があり、女性従業員の離職率が高かった営業部門では、女性従業員における継続就業の障壁を取り除くため、営業職勤務地希望制度や営業職結婚時同居サポート制度等を導入

【管理職登用】

（医薬情報担当者（MR）の取組）

- ◇ 平成 24 年度より女性営業職を対象とした全国会議“Female Conference”を開催し、目指すべき女性活躍推進の方向性や課題とアプローチ等を検討。“Female Conference”には社長を含めた経営トップが終日参加し、多様な人材の活用を推進する姿勢を強く発信、営業所長等の意識改革にも結びつく
- ◇ 女性従業員の意識改革を目指し、日本各地で女性営業職の活躍やキャリア形成を促進する取組を展開。特に、睫毛貧毛治療薬の営業において、女性営業職を前面に出したイベントを実施したところ、営業成績が大幅に向上し、社内表彰制度で社長賞を受賞。現在この取組を全国に展開中

（全部門の取組）

- ◇ 人事委員会では女性従業員の管理職登用について個人別に検討し、個別に育成し、早期に管理職に登用する取組を展開

3 ポジティブ・アクション取組成果

- ◇ 管理職に占める女性の割合が増加

係長クラス：平成 26 年度	17.6%	→	平成 28 年度	21.0%
課長クラス：平成 26 年度	5.9%	→	平成 28 年度	8.5%